

令和5年度 言語文化 シラバス

科目	言語文化	単位数	3 単位
対象	部・年次	1・2・3部	1年次

目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、我が国の言語文化に対する理解や言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者に関わろうとする態度を養う。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて他者に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値について認識するとともに、言語活動を通して言葉を効果的に使おうとしている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート ポートフォリオ 活動への取り組み

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	「言葉の森を育てよう」 「足し算の文化」 「漢字と仮名の使い分け」 「生活体験発表」 「ブックトーク」 「人生を照らす読書体験」 「いろは歌」	授業・単元ごとの自己評価 グループワークによる 意見交換 既習知識の定着度テスト 自己の考えに関するワーク 他者の意見を踏まえた 自己改善に関するワーク	新編言語文化(大修館書店) 常用漢字クリア(五訂版) 国語便覧 自作プリント Kafoot! Classkick Google Forms Jamboard Classroom ドライブ スライド ドキュメント
後期	「枕草子」 「徒然草」 「徒然草」 「羅生門」 「伊勢物語」 「百人一首」 「訓読のきまり」 「論語」		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習者の主体的な取り組みを前提として授業を展開していくため、受け身の姿勢では評価されません。そのため、授業で扱う作品及び作者の主張、他者の意見に対して自身の考えを明確に持ち、それを表現することが重要です。加えて、教員が各授業で示した目標に対して、どれだけ取り組んでいるかも非常に重要です。

自身の考えを他者に伝えて積極的に授業に参加し、各授業の目標が達成できるように努力しましょう。

令和5年度 現代の国語 シラバス

科目	現代の国語	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	2年次
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的思考や共感的理解の向上を図り、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート ポートフォリオ 活動への取り組み

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	『「変わる」ことを楽しもう』(読) ことばの準備体操(話・聞) ことばの使い分け(書) 文を整え、文をつなぐ(書) 『ナンバーワンか、オンリーワンか』(読) 生活体験発表(話・聞) 絵や写真を説明しよう(書) ブックトーク(話・聞、書)	授業・単元ごとの自己評価 グループワークによる 意見交換 学習内容の定着度テスト 自己の考えに関するワーク 他者の意見を踏まえた 自己改善に関するワーク	新編現代の国語(大修館書店) 常用漢字クリア(五訂版) 国語便覧 自作プリント Kafoot! Google Forms Jamboard Classroom ドライブ スライド ドキュメント
後期	取扱説明書を書こう(書) 『水の東西』(読) 『情報の力関係』(読) 情報を吟味しながら読もう(読) ミニインタビューをしよう(話・聞) レポートを書こう(書)		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習内容の定着度、自身の考えの伝達、他者の意見を取り入れた自身の意見の改善など、様々な観点から評価をします。出席することが必須条件で、その上で主体的に学習活動に取り組むことが求められます。人と違う意見は大歓迎です。間違いを恐れず、どんどん授業に参加してください。

令和5年度 漢字入門A シラバス

科目	漢字入門A	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	自由選択科目
目標	漢字の基本的な知識・技能を習得し、卒業後のあらゆる場面で正しい漢字を使って表現できるようにする。また、漢字の成り立ちや部首、熟語の構成などについても学習し、漢字に興味関心が持てるようにする。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基礎的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	文脈に合った漢字を選択したり、漢字の意味等を理解した上で、漢字を適切に使い分ける能力を身につける。学習した漢字を、文章を書く時に適切に使用できるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、積極的に活用していく態度を養う。自己の漢字能力を向上させるべく努力を重ねる。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取り組み姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検10級～7級の演習プリント ②漢検10級～7級の過去問演習 (2)漢字の成り立ち、部首の学習 (3)様々な文章の中での漢字の使い方	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成（単元毎）	・自作プリント ・漢検過去問題集 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検6級～4級の演習プリント ②漢検6級～4級の過去問演習 (2)熟語の構成や四字熟語の学習 (3)創作漢字を考える (4)意見文を書く		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、漢検の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度をチェックします。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけではなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。

令和5年度 小論文講座 シラバス

科目	小論文講座	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2 部	自由選択科目
目標	自分の意見や考えをまとめて適切に文章で表現する能力や、文章を的確に読み取り理解する能力を養う。現代社会の問題に興味を持ち、その内容や世論を知り、自己の考えを深める。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自分の意見や考えを伝えるための語彙力や、文章で表現するための記述力を身につける。現代社会の中で問題になっていることなどについての見識を広げる。	文章を読み、内容を的確に読み取って、自分の考えをまとめる力を身につける。自分の考えを深め、適切に文章で表現できるようになる。	自己を表現するための語彙力や表現力を身につけ、日常生活においてもその力を活用しようとする態度を養う。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	小テスト 定期考査	授業内発表 授業課題（小論文・社会問題課題・意見文等）	授業内での取り組み姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1) 漢字能力・語彙力の向上 漢字・語彙・文法学習プリント (2) 原稿用紙の使い方の学習 (3) 言語力の育成 言語力ドリル (4) 意見文・小論文を書く	・ 漢字練習と小テスト ・ 語彙や文法の解説と演習 ・ 言語力ドリル ・ 意見発表 ・ 現代社会の問題に関する調べ学習や討論 ・ 小論文作成	・ 課題プリント ・ 言語力ドリル
後期	(1) 漢字能力・語彙力の向上 漢字・語彙・文法学習プリント (2) 言語力の育成 言語力ドリル (3) 現代社会の問題について考える (4) 小論文を書く		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、課題プリントや発表、小論文作成などをおこないます。漢字能力や行事語彙力の向上、文章を書く力の育成を目標にして、プリント学習や文章作成の練習に取り組めます。また、現代社会の問題点やその改善策を考えたり、発表したりする機会も多いので、積極的に意見を出すことも求められますので、意欲的に取り組んでください。

令和5年度 漢字入門B シラバス

科目	漢字入門B	単位数	2 単位
対象	部・年次	後期1年次	
目標	日本語の中核をなす漢字について、基礎的な知識・技能を獲得し、卒業後の様々な場面で活用できるようにする。また、漢字の部首や成り立ち、熟語の構成に関心を持たせるなど、生涯にわたって漢字に親しむ態度を養成する。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基礎的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	実際に習った漢字を使用して、新聞記事や契約書類の読み解き、作文や意見文の執筆を行えるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、生涯にわたって漢字に親しみ、積極的に活用していく態度を養う。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取り組み姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成（単元毎）	・自作プリント ・漢検過去問題集 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、漢検の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度をチェックします。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけではなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。

令和5年度 国語基礎 シラバス

科目	国語基礎	単位数 対象 部・年次	1 単位 3部自由選択
----	------	----------------	----------------

目標 常用漢字や慣用表現の意味用法、身近な文章の構成や書き方など言語基礎事項を中心に学ぶことによって、日常生活に必要な国語力を養い、生涯にわたる学習活動の礎をつくる。

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	義務教育段階での学習内容を含め、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能について理解し、それを適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活で他者と円滑なコミュニケーションを図るために、相手の立場や考えを尊重しながら、自分の思いや考えを伝えたり深めたりすることができるようにする。	身の回りの言葉や文章に親しみながら言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって国語能力を向上させようとする態度を養う。
北高力	①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (作文、発表など) 新聞記事などの読解	授業内での取り組み姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢字・語句の学習 ①常用漢字の練習プリント ②慣用表現の練習プリント (2)身近な文章の読み解き (3)作文、意見文の執筆	・ 演習プリントの実施 ・ 演習プリントの解説 ・ 小テスト ・ 成果物の作成 (単元毎)	・ 自作プリント ・ 身近な文章 (新聞、広告、契約書等)
後期	(1)漢字・語句の学習 ①常用漢字の練習プリント ②慣用表現の練習プリント (2)身近な文章の読み解き (3)作文、意見文の執筆		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、卒業までに使えるようになりたい常用漢字や慣用表現などを学び、小テストで定着度を確かめます。また、新聞記事や契約書などの身近な文章をもとに様々な語句や表現を学び、それらが適切に使えるようになったかを、作文や意見文の執筆を通して評価していきます。